

技能功労表彰候補者の紹介(記載例)

職種

氏名 ○○ ○○(×× ××)

生年月日

年齢

現住所 恵庭市文京町～

勤務先 (株)○○建設

■技能の優秀性について

昭和50年以来、50年以上の永きに亘り、建築大工一筋に従事し、日々、技術・技能の練磨に精励し、丁寧な造作精度の高い技術は、まさに「職人業(わざ)」であり、益々その卓越した技術に円熟味を増すとともに、その仕事ぶりに顧客、関係業界内外から高い評価を得ている。

■技能者としての現役について

建築現場においては、建築大工(棟梁)として常に現役で活躍をしており、各部の詳細な「納まり」については、永年培ってきた経験と実績を活かし、独自の手法を考案するなど、より高度な技術・技能の習得に向けて、意識の高揚を図るとともに意欲的に取り組んでいる。

■後進の指導育成等について

一級技能士(建築大工)及び職業訓練指導員(木造建築科)の資格を取得し、後輩大工に対して自ら習得した技能・技術を伝えるなど指導育成を行うとともに、職人業(わざ)のポイントなどを徹底的に叩き込み、大工としての「自覚」と「自信」を持たすため、厳しい人材教育に尽力をしている。

■技能に関する工夫、改善等について

顧客のニーズは様々であり、近年は「エコ住宅」を提案するケースが多く、特に高気密・高断熱に伴う施工は、高度で丁重な技能・技術が求められる。このことから「構造部」における継手・仕口の高度な施工精度はより気密性を増すことから、これらの工法等の工夫・改善に積極的に取り組んでいる。

■その他

アフターサービスの充実は、企業イメージとして重要な役割を果たすが、一方ではクレーム処理と捉えられる反面がある。これらの自主点検等で得られたクレーム結果を分析して、施工上の瑕疵があるかなど、設計・大工共々研修を行い、今後の家づくりのポイントとして工法などに反映させる。

■受賞の経歴

昭和	年	月	優良青年技能士北海道知事表彰
平成	年	月	北海道技能士会長表彰(青年技能士)
平成	年	月	札幌地方職業能力開発協会 会長表彰(優良技能士)

■資格の取得

昭和	年	月	職業訓練指導員(建築科)
昭和	年	月	一級建築大工技能士